

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

ぷらっとホーム株式会社
東証スタンダード 6836

2024年2月9日

ハイライト – 2024年3月期第3四半期累計期間 –

決算・業績予想

・売上高 706百万円 (対前年同期 27百万円増加)

経常利益 △89百万円 (対前年同期 7百万円改善)

半導体不足の影響は続くが対前年同期少額の増収、赤字削減

・通期業績予想は変わらず、売上高 1,055百万円

経常利益 △57百万円 (補助金収入を見込む)

事業戦略

・ソフトウェア・サービス型事業への転換

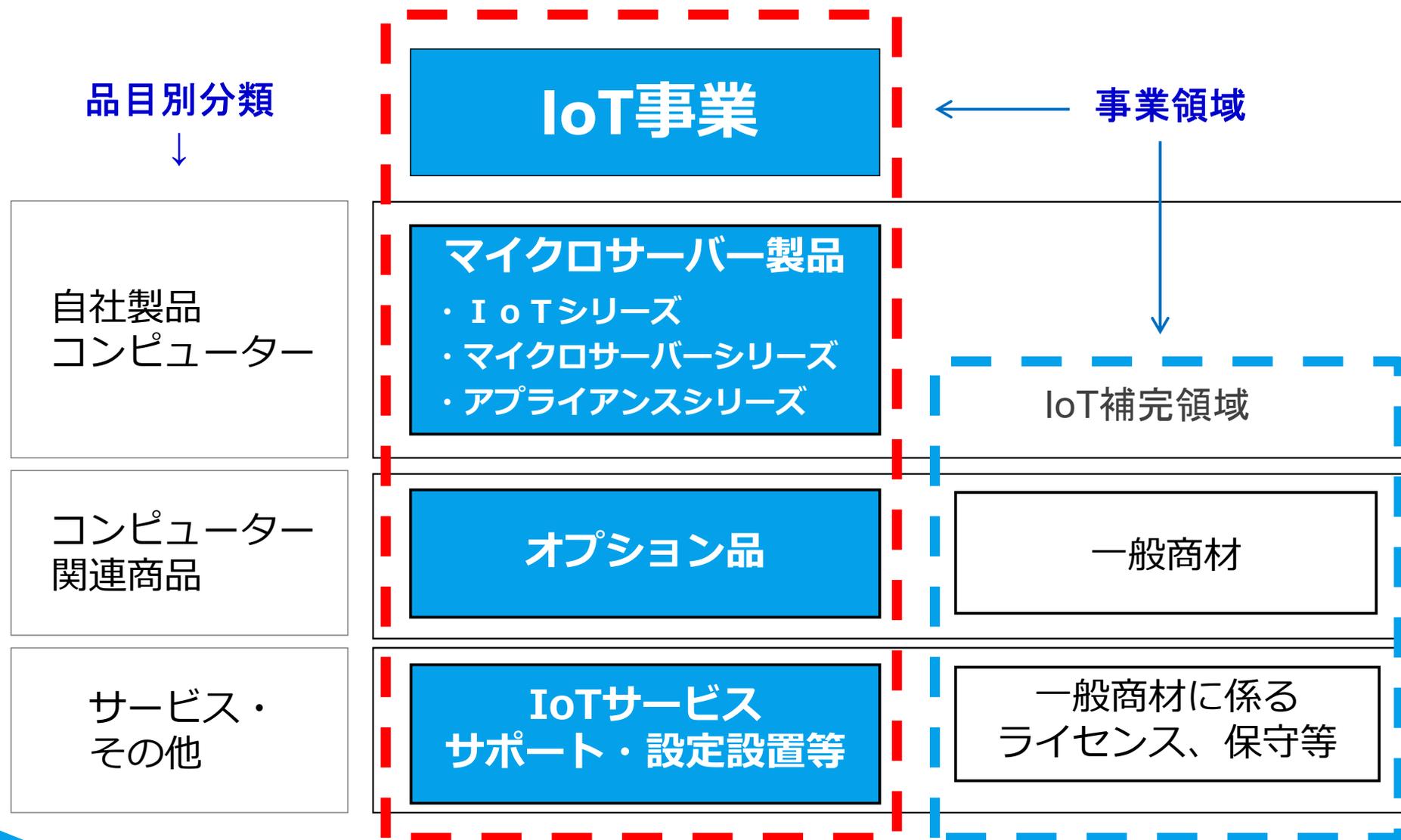
既存事業領域：アプライアンス製品強化

新規事業領域：Web 3技術の実現

Financial Results 2023

2023年度の業績

事業構成



品目別の売上・粗利益

自社製品コンピューターは、アプライアンス製品は増加したが、前年同期にあった大口出荷が減少したため、売上は小幅の増加にとどまる。サービス・その他も自社製品コンピューターが小幅増であったため、関連する保守・IoTサービスが微増にとどまる。コンピューター関連商品は、前年同期に半導体不足のため入荷が遅延していた商品の入荷が再開されたため増加した。

売上高	2023年3月期 3Q		2024年3月期 3Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	678	100.0	706	100.0	27	4.1
自社製品コンピューター	330	48.6	332	47.0	2	0.6
コンピューター関連商品	170	25.1	193	27.4	23	13.8
サービス・その他	178	26.3	180	25.5	2	1.2

粗利益	2023年3月期 3Q		2024年3月期 3Q		前年同期比	
	金額	粗利率	金額	粗利率	増減額	増減率
粗利益	259	38.3	276	39.2	16	6.5
自社製品コンピューター	113	34.3	123	37.3	10	9.4
コンピューター関連商品	39	23.5	44	22.9	4	11.2
サービス・その他	106	59.8	108	60.1	1	1.7

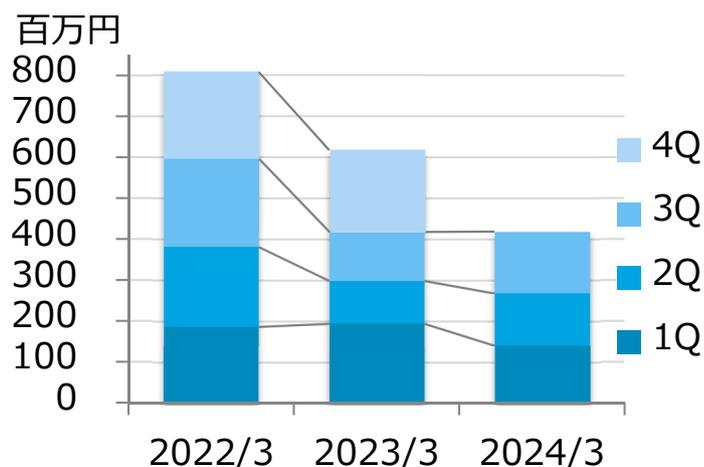
(単位 百万円未満切捨、%)

IoT事業の売上・粗利益

アプライアンス製品は増加したものの、半導体不足による部材供給の滞りの影響が続いていることに加え、前年同期にあった第一世代製品の大口出荷の減少により、前年同期に対して売上高は少額の増額にとどまる。

一方、利益率の高いアプライアンス製品の増加により、利益率は向上した。

IoT事業の売上高



	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	
	3Q	3Q	増減額	増減率
売上高	金額 417	金額 418	0	0.2
マイクサーバ製品	333	334	0	0.2
IoT事業サービス	83	84	0	0.3
売上総利益	192	204	11	6.0
粗利率	46.2%	48.9%	+2.7p	

(単位 百万円未満切捨、%)

損益計算書

前年同期に比べ売上高増、粗利率増、損失減であったが、赤字は継続

	2023年3月期 3Q		2024年3月期 3Q		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	678	100.0	706	100.0	27	4.1
売上総利益	259	38.3	276	39.2	16	6.5
販管費	360	53.2	367	52.0	6	1.8
営業利益	△101	△14.9	△90	△12.8	10	—
経常利益	△97	△14.4	△89	△12.7	7	—
当期純利益	△105	△15.5	△94	△13.4	10	—

コンピューター関連商品の売上が増加

日本酒輸出増実証プロジェクト関連費用13百万円を含む

(単位 百万円未満切捨、%)

貸借対照表

	2023年3月		2023年12月		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
現金預金	225	31.5	135	21.7	△ 89	△ 39.6
売掛金及び 契約資産	168	23.6	130	20.8	△ 38	△ 22.7
棚卸資産	247	34.7	299	47.7	51	21.0
その他	23	3.3	12	2.1	△ 10	△ 44.9
流動資産	664	93.1	578	92.2	△ 86	△ 13.0
固定資産	49	6.9	49	7.8	—	—
資産合計	713	100.0	627	100.0	△ 86	△ 12.1
流動負債	213	29.9	221	35.4	8	3.9
固定負債	36	5.1	36	5.9	0	1.5
負債合計	250	35.0	258	41.2	8	3.6
純資産合計	463	65.0	368	58.8	△ 94	△ 20.5
負債純資産合計	713	100.0	627	100.0	△ 86	△ 12.1

主な内訳
 ■商品及び製品 30百万円
 ■原材料 268百万円

(単位 百万円未満切捨、%)

業績予想

半導体の供給不足の影響が続いていることに加え、予定していた大型案件の出荷時期に遅れが生じました。また、開発を加速して市場に投入した第二世代製品の市場への浸透に時間がかかっています。

このため当事業年度の売上高は、I o T事業は647百万円、一般商材など非I o T事業は408百万円、全体で1,055百万円の見込みです。

業績予想には、農水省補助金交付が決定している日本酒輸出増プラットフォームモデル実証プロジェクト関連費用と補助金収入見込み額を織り込んでいます。

	2023年 3月期	2024年 3月期			
	前期実績	通期予想	対前期比	3 Q実績	年間進捗率
売上高	994	1,055	6.1%	706	66.9%
経常利益	△ 95	△ 57	—	△ 89	—
当期純利益	△ 103	△ 62	—	△ 94	—

(単位 百万円未満切捨、%)

事業戦略

～ハードウェア中心の従来型事業から
ソフトウェア・サービス型事業への転換

ぷらっとホームの事業領域

当社が培ってきたIoT事業を核に周辺領域へ事業を拡大

当社ミッション「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

PHYSICAL WORLD



あらゆるデバイスをインターネットへ
取扱商品（センサー）の拡充

コア・コンピタンス
IoT事業

CYBER WORLD



デバイス管理・リモート管理
データ流通・伝送基盤

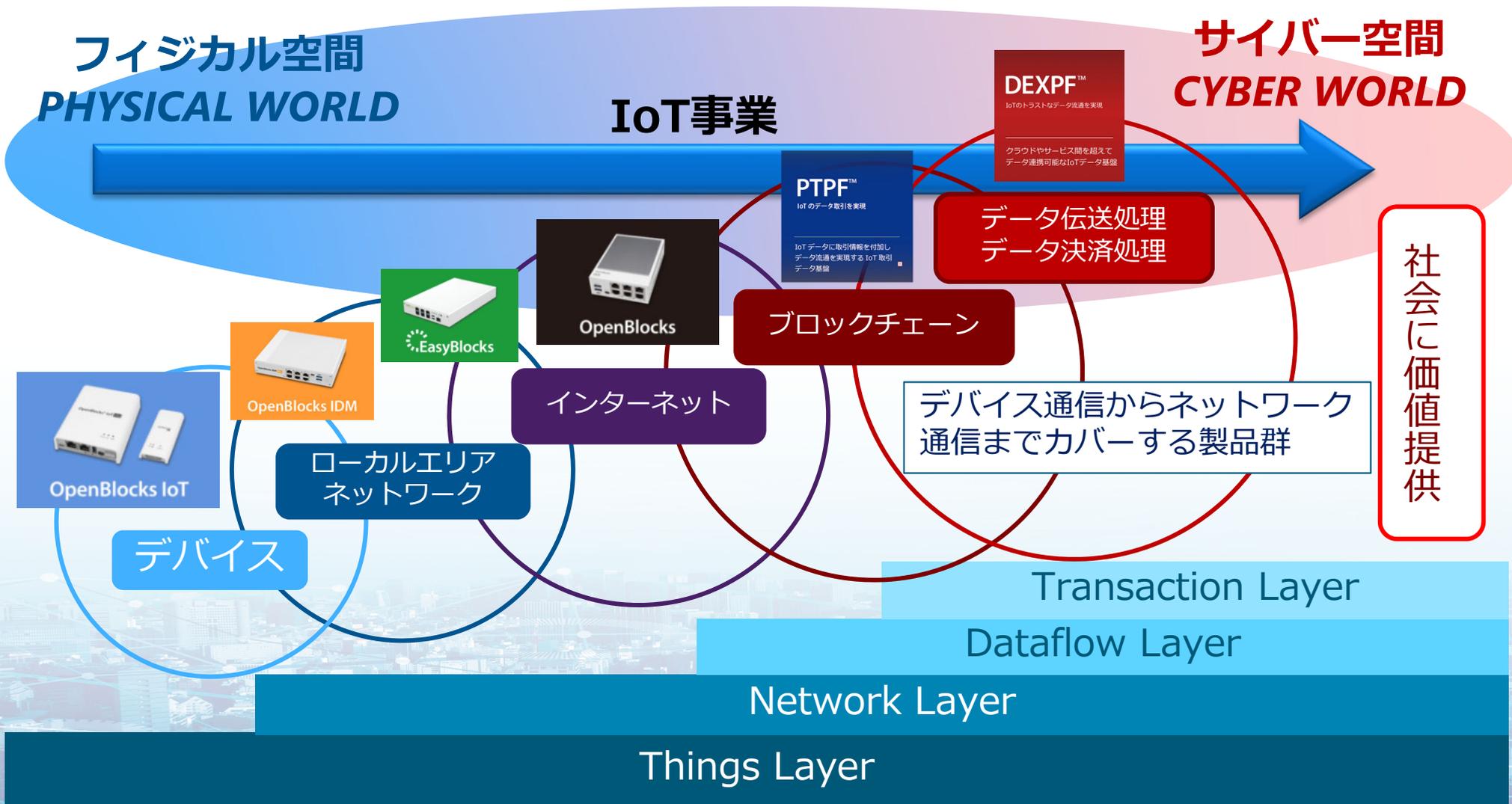
より利便性の高い社会の実現へ
地方公共団体・電力会社
交通・物流・公共施設

より豊かなくらしづくりの実現へ
ビルマネジメント・ビル設備・照明システム
自動車・エネルギー・各種製造業・建設業

より安全な社会の実現へ
地方公共団体・教育機関・医療機関
警備・保険・セキュリティ

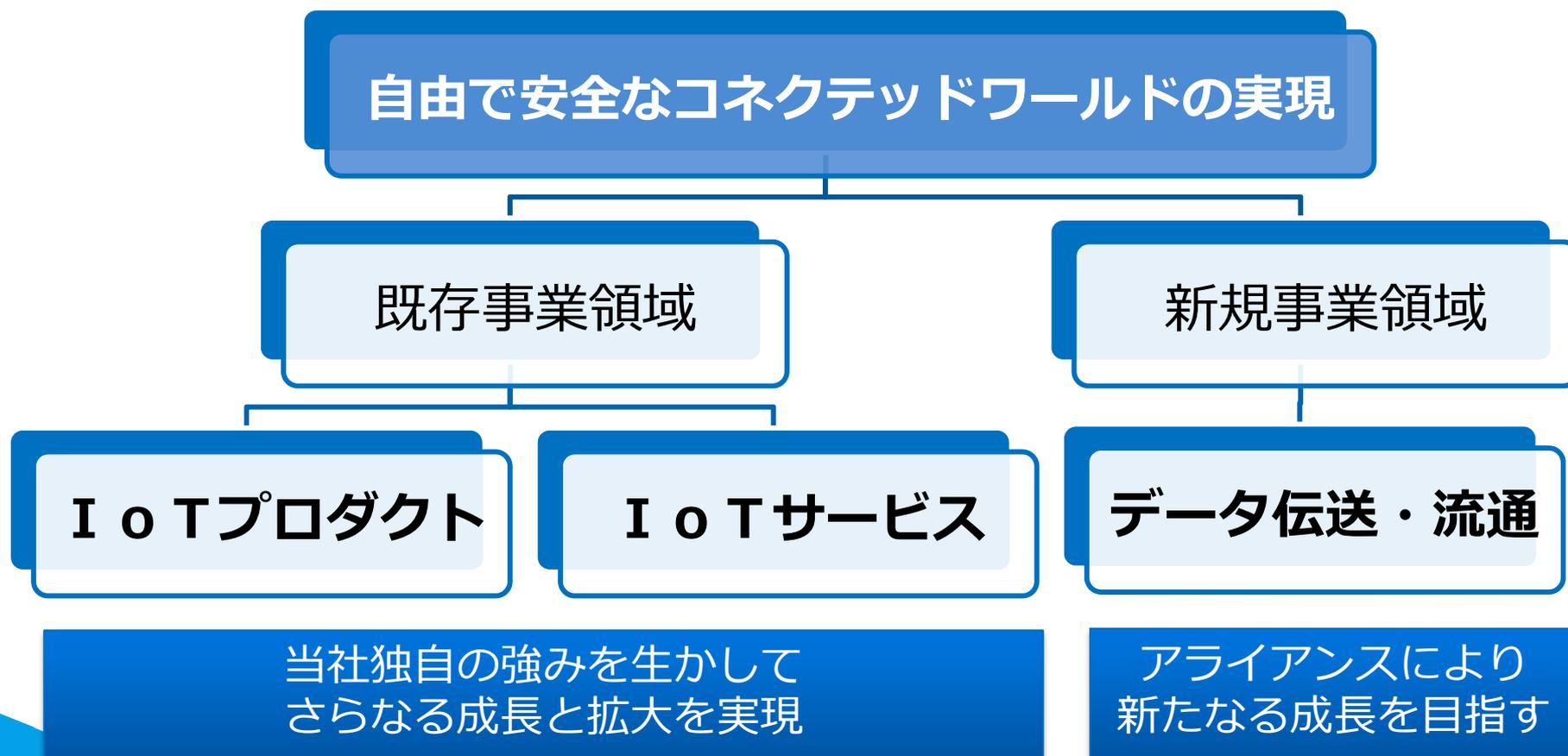
ぷらっとホームの事業領域

デバイスからサイバー空間までをカバーする製品・サービス群により、
自由で安全なコネクテッドワールドを実現



事業展開 独自成長とアライアンス両面での成長

当社は2つの事業を通じて
「自由で安全なコネクテッドワールド」
の実現を目指します。



ソフトウェア・サービス型事業へ転換を加速

1 IoTをコア技術としたWeb3新領域への参入

- ブロックチェーンを活用したIoTによるWeb3領域への参入
- 本番運用を念頭にした本格的な実証検証の実施
⇒「日本酒輸出増プラットフォームモデル実証プロジェクト」開始
- Web3の基礎研究への継続投資
- ⇒慶應義塾大学SFC研究所ブロックチェーンラボとの共同研究
- アライアンスの推進

2 ソフトウェアを源泉としたIoT製品事業の収益化

- アプライアンス製品群の開発・販売の強化
- IoTソフトウェア（Framework）による強みの拡大
⇒「Easy Blocks Network Reporter 仮想アプライアンス」提供開始

新規領域

Web3技術の実装を目指す実証プロジェクト

当社のWeb3（ブロックチェーン）技術とIoTを活用したサプライチェーン管理の実証プロジェクトを進めています。

日本酒の輸出拡大を図るための輸出物流ネットワークの構築を目指す協議会「日本酒輸出増プラットフォーム実証推進協議会」を設立し、新しい輸出物流モデル構築の実証プロジェクトを本年より開始しました。このプロジェクトは、Web3技術とIoTを活用し、輸出のサプライチェーン全体にわたる個品管理と多次元の品質トラッキングを行うと同時に、各段階の参加者に多様な参加機会を提供することにより、従来技術ではできなかった効率化・高品質化・高付加価値化を実現することを目指しています。本プロジェクトには農林水産省の補助金交付が決定しています。

協議会構成企業

- ・秋田清酒株式会社
- ・浅舞酒造株式会社
- ・合名会社栗林酒造店
- ・イーシップ株式会社
- ・ぷらっとホーム株式会社
- ・三井住友海上火災保険株式会社

プロジェクト参加専門企業

- ・三菱倉庫株式会社
- ・株式会社日立ソリューションズ
- ・協栄産業株式会社
- ・イノラックスジャパン株式会社
- ・日本ガイシ株式会社



温度検知 QR コードラベルを用いた日本酒輸出品質向上の例

新規領域

慶應義塾大学SFC研究所との共同研究

「サイバーフィジカルワールドを実現させるための 現実的なプロトコルの研究」

慶應義塾大学SFC研究所の村井純教授、鈴木茂哉特任教授と、IoTシステムとブロックチェーン・システムを連動させるための、現実的なプロトコルの研究・開発

研究の背景

IoT機器から生成されるデータ利活用の取り組みが進められていますが、異なるデータ形式や異なる通信方式を利用するシステム、業界を超えたIoTデータの利活用は容易ではありません。

ぷらっとホームとSFC研究所は、2020年より3年にわたり、ブロックチェーン技術をIoTに活用するための標準的なプロトコルの研究に取り組んでまいりました。

今年度を開始する新たな共同研究では、これまでの研究成果である標準的プロトコルを、さらに現実的な課題に適用し、実用段階に進めることを目指します。

アプライアンス製品の強化

ネットワークに必要な各種ソフトウェア、ハードウェア、サポートサービスをワンパッケージ化したアプライアンス製品「EasyBlocksシリーズ」を強化

- 2023年10月12日 低価格を実現したコンパクトサイズの監視アプライアンスサーバー「EasyBlocks 監視」を発表
- 2023年11月16日 大規模システム向け大容量Syslogサーバーアプライアンスの新モデルを発表
- 2023年11月30日 リモートでの保守作業を支援する「EasyBlocks リモート監視管理」を発表
- 2024年 1月25日 大容量かつ可用性に優れた大規模システム向けログサーバー「EasyBlocks Syslog ProLine」を発表



ソフトウェア

これまでハードウェアアプライアンスとしてのみ提供されていた EasyBlocks に、ログサーバーを仮想プラットフォーム上に導入する仮想アプライアンス版が新たにラインナップ

EasyBlocks Network Reporter 仮想アプライアンス

The screenshot shows the EasyBlocks Network Reporter web interface. The top navigation bar includes 'ダッシュボード', 'サービス', 'システム', 'ネットワーク', 'メンテナンス', 'AirManage', and '技術情報'. Below this, there are tabs for 'ログ表示', 'ログ統計', '基本設定', 'フィルタ設定', 'ログ管理', '証明書管理', and 'レポート'. The main content area is titled 'フィルタ設定' and contains a section for 'フィルタリングルール エクスポート/インポート'. It includes buttons for 'エクスポート (2)' and '実行', and 'インポート (2)' with a 'ファイルを選択' button. Below this is the 'フィルタリングルール設定' section, which is expanded to show a configuration for 'template_rtx_VPN切断'. The configuration fields include: 'ルール名 (2)' (template_rtx_VPN切断), '起点時刻', '終点時刻', 'ホスト (2)' (192.168.10.109), 'Facility' (a grid of buttons including kern, user, mail, daemon, auth, syslog, lpr, news, uucp, cron, authpriv, ftp, local0, local1, local2, local3, local4, local5, local6, local7), 'Priority' (a grid of buttons including emerg, alert, crit, err, warning, notice, info, debug), 'プログラム (2)', 'メッセージ (2)' (Tunnel%Down), and '除外メッセージ (2)'.

- Syslogサーバー及びヤマハ製ルーターに対応したレポート機能に特化
- 多拠点、複数機器のログを一括保存
- 各機器のログを可視化
- Web UIによりログ閲覧や設定作業が容易
- ネットワークの稼働状況を毎日レポート
- 容易なソフトウェアメンテナンス
- Webブラウザ上で一元管理
- リモートマネジメント機能「AirManage 2」

当社事業による社会貢献



環境への配慮

- 当社は、SDGsが採択される以前から、ISO14001を取得し、喫緊の課題である環境問題に向き合い、その解決に向けて取り組んできた。

SDGsへの取り組み

- 当社の技術力により、産業界におけるIoT化を促進。産業と技術革新の基盤を創出（SDGs目標9）
- 大型で電力を消費するサーバーに代替する製品として、当社製品は小型かつ電力消費量低減を実現。製造者としての「つくる責任つかう責任」（SDGs目標12）
- 当社のパートナー戦略は、持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化（SDGs目標17）

当社の事業展開により、顧客とともにカーボンニュートラルに取り組み、SDGsを実現し、社会に貢献してまいります。

ぷらっとホーム株式会社 会社概要

設立：1993年3月

決算期：3月

上場：東証スタンダード 6836

資本金：1億円

社長：鈴木 友康

売上：9億9,475万円（2023年3月期）

社員数：33人（2023年12月31日現在）

主な事業内容：

- IoTゲートウェイや各種ネットワークサーバー用途に最適な、Linuxを始めとするオープンソースソフトウェアを装備した自社製品コンピューターの開発・販売
- 自社製品を補完する商品を中心とした周辺機器/ネットワーク機器の販売
- 製品のリモート管理サービスやIoTコンサルティング・ソリューションなどのIoTサービス及び自社製品に係るサービス、保守の提供

当社ミッション

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

本件に関するご連絡先
ぷらっとホーム株式会社 IR担当
03-5213-4376（平日9:30-17:00）

（注）スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる恐れを含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。